

また
また
広報

たくさんの思い出をありがとう

【船越小学校閉校記念式典の様子…関連記事2～3分】



No.
1288

今号の主な内容

船越小学校閉校式・閉校記念式典 2～3
町のわだい 6～7
天空海闊 12～13

CONTENTS

5月1日号 2024



船越小学校閉校式・閉校記念式典

明治から令和 5つの時代を歩んだ小学校 148年の歴史に幕



式辞を述べる石川修司校長

明治8年、船越小学校は海蔵寺を仮校舎に船越学校として開校しました。以後、改編を重ねて、昭和30年に現在の山田町立船越小学校に改称されました。同校は、幾度か津波被害に見舞われていて、平成23年の東日本大震災大津波では校舎が全壊。「子どもたちは

148年の歴史に幕

長きにわたる歴史の中で地域のコミュニティの中心として在り続けた船越小学校——。3月31日をもって閉校し、148年の歴史に幕を下ろしました。3月23日には、船越小学校の閉校式・閉校記念式典が執り行われ、在校児童や学校関係者、地域住民などが出席し、慣れ親しんだ学校との別れを惜しみました。ここでは、船越小学校の歴史と閉校式・閉校記念式典の様子をお伝えします。

海や山などの美しい風景と地域の人たちの愛情に包まれ多くの人材を育んできた同校。船越地区コミュニティの中心として長年存在し、これまで5245人の卒業生を輩出してきました。多いときには700人以上の児童が在校していましたが、人口減少などの影響で令和5年度には全校児童が66人となり、山田小学校への統合が決定。令和6年3月31日をもって148年の歴史に幕を下ろしました。

のため一刻も早く再建してほしい」との地域の熱い思いから、3年後の平成26年4月には校舎が再建され、被災地で1番早く復旧が完了した学校となりました。

◇船越小学校の歴史

年 月	主な出来事
明治8年9月	船越学校開校
明治29年6月	明治三陸大津波で校舎被災
昭和22年4月	船越小学校と称する
昭和30年3月	町村合併で山田町立船越小学校と改称
平成23年3月	東日本大震災で校舎が被災
平成23年4月	陸中海岸青少年の家で仮校舎開設
平成26年4月	新校舎が完成し学校活動を再開
令和6年3月	山田小学校へ統合のため閉校

閉校式・閉校記念式典

同校の閉校式は3月23日に行われ、児童や教職員、保護者など約170人が参加しました。開校から令和までの148年間の長い歴史の中、繋いできた伝統が終わりを迎えます。地域や保護者の皆さんが、子どもたちの幸せを願いながら大事に育んできた船越の伝統があったからこそ築かれたものと思います。船越小学校の子どもたちには自分の大きな夢に向かって前に進んでほしいです」と挨拶。その後、在校生を代表して児童会長の荒



①全校児童が「明日へ」を合唱②昭和40年頃の船越小学校③東日本大震災被災前の同校④閉校時の同校⑤閉校式会場の入口⑥学校への感謝を述べる荒川蒼太さん⑦石川校長から佐藤町長へ校旗返納⑧感謝状を贈呈された地域の皆さん⑨船小ソーラン⑩同校を卒業した中学生らによる鼓笛演奏⑪校歌を斉唱する児童⑫教室で最後の学級時間⑬友人と記念に写真撮影⑭卒業生と先生で記念撮影

閉校式の参加者からひとこと



田代修三さん(船越・68歳)

船小の伝統を胸に頑張してほしい

小学校が閉校するのはとても寂しいです。小学校に28年間携わり、地引き網体験や定置網体験など船小ならではの漁業体験で子どもたちの成長を見るのが楽しみでした。小学校は閉校してしまいましたが、子どもたちには船小の伝統を胸にこれからも頑張してほしいです。



後藤夕香里さん(船越・69歳)

船小に感謝しています

子どもたちと一緒に砂の造形に取り組んだことや児童の鼓笛隊による地域安全パレードに参加したことを今でも思い出します。地域交流の中心にあった小学校の閉校は言葉にできないほど悲しい気持ちですが、たくさんの思い出をくれた小学校に感謝しています。



菊地みち子さん(船越・67歳)

船小を語り継いでいきたい

楽しそうに過ごしている子どもたちの姿にいつも元気をもらっていました。中でもはんでんを着た船小ソーランは別格で、見ていると私も踊りたくなります。地域の伝統が詰まった学校が閉校するのは寂しいですが、地域のみみなで船小を語り継いでいきたいです。

川蒼太さん(当時6年生)が「校舎から美しい船越湾を見て、前向きな気持ちになれるこの景色が大好きです。船越小学校で過ごした6年間は僕にとってかけがえない時間でした。148年間ありがとう」と学校への感謝の気持ちを述べました。

最後には、校旗返納が行われ、これまで長きにわたり学校の歩みを見守ってきた同校の校旗が石川校長から佐藤町長へ手渡されました。

続いて行われた実行委員会による閉校記念式典には、閉校式の参加者に加え卒業生や地域住民なども参加。総勢約300人の関係者が集まりました。

初めに、実行委員会からこれまで児童の見守り活動や校外学習でお世話になった地域の皆さんに向けて感謝状が贈呈され、その後、思い出朗読や在校児童による船小ソーラン、同校を卒業した中学生や高校生などによる鼓笛演奏などが披露され、参加者は、懐かしい当時の思い出を振り返っていました。在校生からは、震災当時の6年生が復興への思いを込めて作詞した「明日へ」が披露され、最後に、来場者全員で校歌を合唱。参加者らは、時折涙を浮かべながら、思い出が詰まった学校との別れを惜しみました。

地域おこし協力隊が町を盛り上げます

地域おこし協力隊は、都市地域から山田町に住民票を移し、地域ブランドや地場産品の開発・販売・PRなどの地域おこし支援や農林水産業への従事、住民支援などの「地域協力活動」を行いながら、地域への定住を図る取り組みです。ここでは、町を盛り上げるために現在奮闘中の協力隊5人を紹介します。

◆問い合わせ 町政策企画課まちづくり推進係（82-333-11）内線363へどうぞ。



農業振興部門 藤田至恩さん

経歴

北上市出身で現在24歳。設備工事業の会社に作業員として勤務していたが、地域おこし協力隊として活動している赤瀬凱さんの影響を受けて自身も協力隊として地域社会に貢献したいと思い応募。

ひとこと

有害鳥獣被害などの農業問題の解決に努め、町民の皆さんが安心して農業を営めるような環境づくりを目指します。また、イベントなどを企画し、多くの人に農業の魅力に触れる機会を提供できるように頑張ります。



観光町づくり部門 遠藤史哉さん

経歴

山田地区出身で現在32歳。総合建設会社の現場監督や観光客向け宿泊施設の支配人、古民家を活用した地域活性化事業など多方面の仕事を経験。山田町を「観光の町」として町外に発信したいと思い応募。

ひとこと

山田の秋祭りをはじめ、山田でしか体験できない魅力を観光客に向けて発信していきながら、キッチンカーを活用した町外へのPR活動をしていきます。何度も山田へ足を運んでみたいと思ってくれるようなキッカケ作りに努めます。



地域活性化部門 赤瀬凱さん

経歴

北上市出身で現在24歳。埼玉県の教育関係の企業に就職していたが、豊かな自然の中で、地域社会に貢献できる仕事がしたいと考えていたところ、祖父の地元である山田町で協力隊の存在を知り応募。

ひとこと

インターネットを活用し、町内の観光スポットや特産品など魅力を発信しています。最近、有害鳥獣駆除のため猟銃免許を取得しました。6次産業の開発を目指し、駆除した有害鳥獣をジビエとして活用できるように取り組んでいきます。



ジオパーク専門員 里嘉千茂さん

経歴

鹿児島県出身で現在68歳。東京学芸大学の教授として地震学などを教えていた経歴を持つ。岩手でジオパークの研究や防災知識の普及啓蒙活動を行いたいと考えていたところ、協力隊の存在を知り応募。

ひとこと

ジオパーク専門員として、山田町の学術的価値や魅力を再発掘して新たなジオサイトの登録を目指します。また、これまで培ってきた防災知識を町内の子どもたちや地域の皆さんに伝えるため、防災の講演会や啓蒙活動を行っていきます。



ジオパークコーディネーター 福土隆幸さん

経歴

大沢地区出身で現在45歳。大学への進学をきっかけに宮城県へ移住。卒業後、スポーツ系企業などに就職していたが、地元山田町に少しでも貢献できないかと考えていたところ、協力隊の存在を知り応募。

ひとこと

ジオパークコーディネーターとして、町内外の人に自然豊かな山田町を堪能してもらえるようなイベントを開催し、情報発信していきたいです。山田の地域活性化に貢献できるように精一杯頑張りますので、よろしくお願いいたします。

令和6年能登半島地震

当町からの支援状況

令和6年1月1日午後4時10分。日本中が新年を祝うこの時間に巨大地震が能登地方を襲いました。「令和6年能登半島地震」と名付けられたこの地震の規模は、マグニチュード7.6で最大震度7。阪神・淡路大震災を超える威力の揺れは、建物や道路、水道管、電柱、山林に至るまで破壊しました。海岸部では最大4mを超える津波が発生し、多くの家が飲み込まれ、山間部では山や崖が崩れるなど、同地方全域で甚大な被害が生じ、3月末時点でも避難者数は8千人を超えています。

町では、被災した市町の方々を継続的に支援するため、人的支援をはじめとした各種支援を行っています。ここでは現時点での支援状況をお伝えします。

- ◆問い合わせ ▶支援内容など…町総務課防災係(☎82-3111内線415)、
▶義援金受け付けなど…町長寿福祉課地域福祉係(内線151)へ。



道路が陥没し、津波で船が乗り上げ(石川県能登町)



人的支援

町では、総務省の「応急対策職員派遣制度」に基づく県の災害派遣要請により、下表のとおり3人の職員を派遣しています。派遣先は家屋の倒壊や道路の崩落などの甚大な被害に遭った石川県能登町。住家被害認定調査や公費解体と応急修理申込受付事務、住家被害認定二次調査などの業務に従事しました。

業務内容	期間
住家被害認定調査業務 職員派遣1人	1月25日から 2月1日まで
公費解体申請等受付事務 職員派遣1人	3月27日から 4月3日まで
住家被害認定二次調査業務 職員派遣1人	4月2日から 4月9日まで



被災した家屋の調査を行う様子



受け付け事務の様子

◆支援物資の一覧

支援内容	数量	支援先
飲料水(500ミリリットル)	1,440本	輪島市
食料(アルファ化米)	1,650食	
トイレ便袋	3,260枚	
土のう袋	2,000枚	
ブルーシート	100枚	
PPロープ	100巻き	



1月に発送した支援物資

物的支援



1月27日、東日本大震災時に職員派遣などの人的支援をいただいた石川県輪島市へ、被災者を支えるために特に必要とされていた食料や生活用品などの物資を現地に届けました。また、被災者の受け入れ体制として、要請があった場合に備え、町営住宅7戸を準備しています。



義援金による支援

100万円を当町から輪島市へ

3月22日に当町から石川県輪島市へ、100万円の義援金を送金しました。輪島市からは東日本大震災時、多額の寄付をいただいています。送った義援金は、被災された方々の生活再建資金などに充てられます。

お寄せいただいた義援金総額 44万706円

町では、1月5日より義援金の受け付けをはじめ、これまでお寄せいただいた義援金は、令和6年3月31日時点で総額44万706円となりました。皆さまからの温かいご支援、誠にありがとうございます。引き続き、町役場本庁舎と豊間根支所、船越支所で受け付けていますのでご協力をお願いいたします。

新1年生が元気に登校 夢と希望を胸に学校生活をスタート

4月9日——。今年度から船越小学校と統合した山田小学校(佐々木哲也校長、児童448人)では、入学式が行われ、新1年生80人(男子41人、女子39人)が元気に登校しました。入学式では、ちょっぴり緊張した様子で入場してきた子どもたち。上級生や父母らが温かく見守る中、名前を呼ばれると「ハイ」と大きな声で返事をし、一礼する立派な立ち振る舞いを見せていました。今年の新入学児童は町内全体で94人(男子50人、女子44人)。夢と希望を胸に新しい学校生活をスタートさせました。



悩み相談の大切さなどを学ぶ こころの健康講演会に59人

3月28日、町主催の「こころの健康講演会」が町中央公民館小ホールで開かれ、町民59人が参加しました。当日は岩手医科大学精神科医の西田亘さんが「こころの健康について」をテーマに講演。心の病気(うつ病や不安症など)は誰でもなる可能性がある病と紹介し「悩みは誰にでもあるもの。一人で抱え込まず、周りの人たちに相談することが大切です」と強調しました。参加者らは何度もうなずいたり、メモを取ったりと心の病気の予防方法や社会参加の大切さなどを学んでいました。

船越半島を巡るジオイベント クイズ形式で町の歴史学ぶ

三陸鉄道に乗り船越半島を巡る「三陸ジオトレイン in 山田船越半島」が3月24日に開かれました。これは三陸ジオパークの魅力を感じ、興味や関心を持ってもらおうと三陸ジオパーク推進協議会などが開催したもので、当日は、町内外から約20人が参加。津波の教訓が刻まれた津波碑や鯨と海の科学館などを巡り、町の歴史などのクイズを解きながら楽しく歩く参加者の姿が見られました。宮城県から参加した福土幸真さん(中学1年生)は「山田町の歴史に興味を湧きました」と話していました。



(株)テルコーポレーションと協定締結 災害時に宿泊施設を提供し支援

町では、船越地区に「ビジネスインやまだ」を運営する(株)テルコーポレーションと災害時の宿泊施設提供の協力協定を締結しました。これは災害発生時に高齢者や障害者などの要配慮者が避難を余儀なくされた場合、同社がホテルへの宿泊や入浴場所などを提供。町が食料や水、おむつなどの備品を準備し、避難者へ提供を行うものです。嶋田農代表は「万が一災害が発生した場合、避難を余儀なくされた皆さんが安心して生活を送れるように支援の準備をしておきます」と万全な対応を誓っていました。



町のわだい

今月の題字 小原 ^{かいと}快斗さん（豊間根小4年）



ジャガイモ詰め放題に挑戦する子どもたち



磯汁お振る舞いの様子



親子連れでにぎわう「かきくけ公園」

「おいすた」初イベントに1万2千人 催し物に施設内にぎわう

開業から初イベントとなる「おいすたフェス」が3月16日と17日に道の駅やまだ「おいすた」(関口健駅長)の施設内で開かれ、町内外から訪れた約1万2千人でにぎわいました。イベントでは、磯汁^{たけし}が無料で振る舞われたほか、子ども限定に行われた「キッズジャガイモ詰め放題」や先着50人限定の「カキ剥き体験」、町内のキッズダンスチームのパフォーマンスなども行われ、大勢の人たちがさまざまな催しを楽しんでいました。会場を訪れた関根楓人^{ふうと}さん(山田小2年生)は「たくさん外で遊べて楽しかった。また遊びに来たいです」と満面の笑みを浮かべていました。

三陸鉄道開業40周年イベント 記念列車をホームでお出迎え

県沿岸を走る三陸鉄道(株)が4月1日に開業40周年を迎え、特別ヘッドマークを付けた記念列車が盛駅(大船渡市)―久慈駅(久慈市)の全163キロを運行しました。当日、陸中山田駅では記念イベントとして、郷土芸能団体の境田虎舞やゆるキャラのヤマダちゃんタケちゃんがお出迎え。駅のホームには、町内外から大勢の人が集まり「おめでとう」や「これからも頑張ってください」などの温かいエールがかけられました。釜石市からお祝いに駆け付けた四宮結愛^{あゆみ}さん(小学2年生)は「見るのができてうれしかった。次は列車に乗ってみたいです」と目を輝かせました。



予防接種費用を全額助成します

町では、子どもや妊娠予定の女性などを対象にした次の予防接種費用を助成しています。対象年齢や助成期間などを確認し、計画的にワクチンの接種を受けましょう。接種を希望する場合は、事前に右表の医療機関へ予約をしてください。

町外の医療機関で接種を希望する人や、接種方法などの詳しい内容を確認したい人は、お問い合わせください。

◆町内実施医療機関【要予約】

実施医療機関	子ども	風しん
近藤医院 (☎82-3328)	○	○
後藤医院 (☎82-6690)	○	○
県立山田病院 (☎82-2111)		○

※ロタウイルスのワクチン接種は近藤医院のみ

◆問い合わせ 町健康子ども課健康管理係(☎82-3111内線611、618)へどうぞ。

子どもの定期予防接種



子どもの定期予防接種は、国が示す標準的接種期間内に接種することをおすすめしています。接種費用は、町が全額を助成していますので、下表を確認し忘れずに予防接種を受けましょう。

今年4月から五種混合・小児用肺炎球菌(15価)ワクチンが定期接種になりました。

五種混合ワクチンは従来の四種混合ワクチンにヒブワクチンの成分を加えたワクチンです。なお、すでに四種混合・ヒブワクチンで接種を開始している人は、同一ワクチンで接種を完了することが原則です。小児用肺炎球菌ワクチンは、13価から15価へ切り替わりましたが、当面は13価のワクチンも接種できます。

◆定期予防接種一覧

種類	回数	標準的接種期間	助成対象年齢
インフルエンザ菌b型(ヒブ) 小児用肺炎球菌	4回	生後2カ月～7カ月未満	生後2カ月～5歳未満
B型肝炎	3回	生後2カ月～9カ月未満	生後12カ月未満
ロタウイルス(1価)	2回	生後8週～24週	生後6週～24週
ロタウイルス(5価)	3回	生後8週～32週	生後6週～32週
四種混合 五種混合	4回	生後2カ月～12カ月未満	生後2カ月～90カ月未満
B C G(結核)	1回	生後5カ月～8カ月未満	生後12カ月未満
麻しん風しん混合(MR)	2回	▶1回目:生後12カ月～24カ月未満▶2回目:7歳未満で小学校就学前の1年間	▶1回目:生後12カ月～24カ月未満▶2回目:7歳未満で小学校就学前の1年間
水痘(水ぼうそう)	2回	▶1回目:1歳～1歳3カ月未満▶2回目:1回目の接種から6カ月以上12カ月以内	1歳～3歳未満 ※1回目の接種が2歳9カ月～3歳未満の場合、2回目は自己負担
日本脳炎	4回	▶1・2回目:3歳～4歳未満▶3回目:4歳～5歳未満▶4回目:9～10歳未満	▶1～3回目:3歳～90カ月未満▶4回目:9～13歳未満
二種混合 ※小学6年生で接種	1回	11歳～12歳未満	11歳～13歳未満
子宮頸がん	3回	13歳になる年度の初日からその年度の3月末までの間にある女性	12歳になる年度の初日から16歳になる年度の3月末までの間にある女性

風しん抗体検査と予防接種



風しんの免疫の有無は、県などが行う無料の抗体検査で確認できます。検査を受け、免疫がない場合は予防接種を受けましょう。予防接種の費用は、町で全額を助成します。

◎県の風しん抗体検査

- ▶対象者 ①妊娠予定の女性②検査の結果、風しん抗体価が低いことが分かった妊婦(①を含む)の配偶者や同居者
- ▶持ち物 ▶住所が分かるもの▶風しん抗体価が分かるもの(②の人のみ)

▷実施期間 来年3月31日まで

◎検査後の風しん予防接種

- ▷対象者 次のどちらかに該当する町民▶県の抗体検査の結果、十分な免疫を保有していないと判断された▶妊婦健診の風しん抗体検査の結果、十分な免疫を保有していないと判断され、再度妊娠を望んでいる
- ▷助成期限 来年3月31日
- ▷申請方法 自己負担で接種後、町健康子ども課へ申請してください。

広報クイズ No.322

全問正解者の中から抽選で10人に図書カード500円分をプレゼント！3つの中から正しいものを選んで、応募してね。

- ① 船越小学校は開校から〇〇〇年間で閉校を迎えた？
 ① 140年 ② 145年 ③ 148年
- ② 下水道への理解・関心を深めるために作られたカードは「〇〇〇〇カード」？
 ① マンホール ② 電柱
 ③ マイナンバー
- ③ アナハゼティが講師で開催するのは「親子でチャレンジ！〇〇講座」？
 ① 料理
 ② キャンプ
 ③ 釣り

【応募方法】 はがきに下記の内容を記載しご応募ください。当選者の氏名、地区名は来月1日号で発表します。応募は1人1通です。

63	〒028-1392	・クイズの答え
山田町役場 広報クイズ係 行	(住所記載不要)	(例) ①-A ②-B ③-C
		・氏名 ・年齢 ・住所 ・連絡先

「みんなのスペース」へのイラストの投稿を兼ねる場合は、氏名などの情報を表面に記載してください。

【締め切り】 5月15日(当日消印有効)

【当選者発表】 前回の正解は、①-A、②-C、③-Aでした。応募数は25通、抽選の結果次の10人が当選しました。

- ▶ 山田…杉谷ミサ子 ▶ 八幡町…豊間根成子 ▶ 飯岡…川端律子 ▶ 川向町…倉堀栄枝 ▶ 船越…黒澤頼江 ▶ 織笠…中村理奈 ▶ 大沢…川井キヨ ▶ 豊間根…芳賀秀子 ▶ 荒川…佐藤京子 ▶ 宮古市…阿部喜子 (敬称略)

安心して出産を迎えてもらうために 妊産婦の通院費用を補助します



町では、妊産婦の経済的負担を軽減するため、「妊産婦通院費補助金」を交付します。

対象となる人は忘れずに申請してください。

▷ 対象者

▶ 母子健康手帳の交付日から出産後6週間までの人

▶ 町内に住所があり、県内の産科医療機関に通院する妊産婦

▷ 内容 妊産婦健診や妊娠・出産の通院、入院のために利用したタクシー料金や公共交通機関、自家用車の費用

※対象費用は、令和6年4月1日以降に利用されたものに限りです。

▷ 助成金額 下表のとおり

※一人当たり20回が上限です。

▷ 申請方法 1カ月健診を受診した日から2カ月以内に申請に必要なものをそろえて、申請窓口で申請してください。

▷ 必要なもの ▶ 母子健康手帳 ▶ 産科医療機関の受診日が記載されている医療費領収書と診療明細書 ▶ 妊産婦本人名義の振込先口座の通帳 ▶ 印鑑 ▶ 発着地が記載されたタクシー料金の領収書

※タクシー料金の領収書は、タクシーを利用した人のみ提出してください。

▷ 申請期限 来年3月31日

◆ 助成金額一覧

区分	居住地～医療機関の距離	助成額
自家用車 ・ 公共交通機関	30* _{0.5} 未満	千円/回
	30～60* _{0.5}	1,500円/回
	60* _{0.5} 以上	2千円/回
タクシー	—	片道3千円を超えた分 ※居住地から医療機関の間以外の利用(買い物などの途中下車)は対象外

◆ 問い合わせ 町健康子ども課子ども家庭支援係(☎82-3111内線604、605)へ。

町内初の「マンホールカード」 無料で配布しています

作成した「マンホールカード」

町では、町内初となる下水道の「マンホールカード」を作成しました。

「マンホールカード」とは、各市町村の個性や思いが描かれたマンホール蓋をカード化したものです。全国の市町村

各町では、町内初となる下水道の「マンホールカード」を作成しました。

「マンホールカード」とは、各市町村の個性や思いが描かれたマンホール蓋をカード化したものです。全国の市町村

町では、「マンホールカード」を無料配布しています。

◎道の駅で無料配布

町では、「マンホールカード」を無料配布しています。

▽配布時間 午前9時～午後5時

▽場所 道の駅やまだ「おいすた」情報コーナー

▽注意事項 カードの交付は、1人につき1枚のみです。

◆ 問い合わせ 町上下水道課 下水道庶務係 (☎82-3111内線347)へどうぞ。

みんなのスペース

◆宛先・問い合わせ

〒028-1392(住所不要)山田町
役場総務課文書・広報係 ☎82-
3111内線416 / メール: info@tow
niwate-yamada.lg.jp)へどうぞ。

「山田町高齢者大学閉校式」

三月二十一日、山田町高齢者大学の閉校式が「三陸花ホテルはまぎく」で行われ、百二十名の受講生が出席しました。町民歌斉唱、松葉党学長から篠澤政夫委員長への修了証書授与、挨拶のあと昼食を取りました。懇親会には、ナレーション入りで「同期の桜」を踊りました。私たちも九十代です。気張っても年齢には勝てません。「年相応」に老人クラブでたのしみ、おだやかに老いたいですね。長寿福祉課と町老連の皆さまにお世話になっております。感謝です。
菊地 サカエ

やまだ文芸広場

「だらっぽばっけ」

時季逃さず

食卓に山菜は

山の贈りもの



小林 りつ子

春深く山も里も

みどりに色どられ

山桜の花は散ってあずき色

坂本 フジ

花を選る

涙の春や姉はいずこ

下坂 アキ子

酒ゆえか年齢ゆえか十時間ねむりて

醒めてなほも眠たし

内館 洋一

幾たびも大波阻み霞露ヶ岳

内海の賑わいいついまでも

佐々木 ウメ

今月も人口減に吾憂う

故郷やまだに集まって

尾形 良子

「恵みの雪」

今年の正月明けから暖冬の日々。小岩井農場の雪まつりも雪不足で中止となり、夏は猛暑で水不足になるのではと心配になりました。

2月21日、一夜にしてドカ雪となり…朝、白銀の世界が輝き眩しく「恵みの雪」積雪。思わず「温暖化の地球を思い切り冷やしてください」と…。友達からは「それで冷える訳がない!!」と返答されました。その後、降雪が続き家から出られず流石に「うんざり」しました。

小岩井農場の雪まつりが中止でも次男の庭は例年の如く雪像がお目見え。大トトロやネコバス、小トトロをたくさん艦そりのせ孫娘が運ぶ。トトロにからだって塀の上には雪ウサギが並び、歌でも歌っているかのように楽しそうな庭を作りあげていました。三陸に春雪が降り、海藻を育成させるアグリメント。浜はわかめ収穫で漲溢！潮の香りがして三陸山田に春が届く。

匿名希望

「最後の読み聞かせの日」

2月初旬、山田町朗読ボランティア一同は、閉校となる船越小学校で読み聞かせを行いました。今までの10年間に読んだ本は、延べ450冊になるそうです。最後の活動となるその日は、数冊の絵本の読み聞かせとペープサートの実演も披露しました。限られた時間の中で流れが滞りなく進行するように、そしてなにより全校児童に喜んでもらいたい一心の私たちでした。先生方、児童の皆さんのおかげでこちらの方こそ楽しいひとときを過ごさせていただきました。学校側からは素直で心のこもった思いで綴られたたくさんの感謝状にも値する感想文が贈られました。本当にありがとうございました。その日の児童たちの真剣に耳を傾ける姿、眼差し、笑顔、それから校舎の窓から見渡したまるで絵のような景色を忘れることはないでしょう。町内の児童の皆さんがこれからもますます楽しい学校生活になりますようにと心から願っています。

附田 心

町長室から

春が好きである。木々には若葉が芽吹き、あつといふ間に一斉に小さな手を開くようだ。草花も気付けぬうちに背丈を伸ばす。そして色とりどりの花を競うように咲かせる。この間まで硬く冷たかった地中からも虫たちが顔を出す。小鳥も餌を求めて動きが活発になり鳴き声も響き渡る。また、野生動物も動き出す季節でもある。過日、県にツキノワグマ対策の要望に行ってきた。昨年はドングリなどの実がほとんどならない大凶作の年であり、クマが里山にたくさん下りてきたと言いつつ、そしてこのような年には子供をあまり産まなくなるとも言っていた。また昨年はたくさん駆除をしたので、今年はクマの被害が多くなるのではないだろうかとも言っていた。全ての動植物に生きる権利が存在する以上、山菜採りなども加減をしながらかけることが求められるのではないかと思う。春はみんなのものだから

山田町長 佐藤 信逸



上林 葉菜さん(山田・25)

お客様に寄り添った接客を

「お客様の悩みに寄り添い、地域に寄り添える接客業にやりがいを感じています」と話すのは、町内のホームセンターに勤務する上林葉菜さん。入社6年目を迎え、現在は出納管理業務や品出し業務、レジ業務などを担当しています。

「この仕事は、商品を販売するだけでなく、一人一人の要望に合わせた提案が大切。最初は戸惑うこともありましたが、少しずつお客様の悩みに寄り添える接客業にやりがいを感じています。業務で気を付けているのは、笑顔と接客態度。お客様から、笑顔を褒められた時が一番うれしい」とこり。普段から明るい上林さんですが、仕事を始めてから特にその意識が高まったそうです。

「たいです」と家族思いの一面を見せてくれました。今後の抱負を尋ねると「お客様と同じ目線に立って考えられる販売員になりたいです。今よりも専門知識を深め、多くのお客様に喜んでいただけるよう頑張りたいです」と目標に向かって日々、努力する上林さんです。

キッチンスタジオ

No.175

ハーモニー

このコーナーでは、町栄養士や山田町食生活改善推進員連絡協議会の皆さんがちょびっとの塩でもおいしい料理、季節のおすすめや地元食材を使った料理などを紹介します。今回は、大人も子どもも大満足！栄養満点「春の行楽弁当」です。

春の行楽弁当



【材料(4人分)】

■レンコンのはさみ焼き

レンコン…150g² 鶏ひき肉…150g² ネギ…10g²
片栗粉…適量 ごま油…大さじ1
A {パン粉…25g² 酒…大さじ1/2 マヨネーズ…大さじ1/2 ショウガ…小さじ1/2 鶏ガラスープの素…小さじ1/2}

B {酒…大さじ2 しょうゆ…大さじ2 みりん…大さじ2 酢…大さじ1 はちみつ…小さじ1}

■枝豆と小エビの混ぜご飯

炊きあがったご飯…2合 桜エビ…10g² 冷凍枝豆…100g² 白だし…大さじ2

【作り方】

■レンコンのはさみ焼き

(1人当たりの栄養素 236kcal、塩分1.9g²)

- ①レンコンの皮をむき、5mm程度の厚さに16等分し、水にさらす。ザルにあげ、ペーパータオルで水気をよく取る。ネギはみじん切りにする。
- ②ボウルにひき肉、ネギ、Aを入れてよく練り、8等分に作る
- ③レンコンの両面に片栗粉をまぶし、2切れで②をはさむ。

- ④フライパンにごま油を入れて熱し、③を中火で焼き色がつくように焼く。裏返したら蓋をし、弱火で肉に火が入るまでじっくり焼く。

- ⑤ボウルにBを合わせて、④に加え、煮絡めたら火を止めて完成。

■枝豆と小エビの混ぜご飯

(1人当たりの栄養素 300kcal、塩分0.3g²)

- ①耐熱容器に刻んだ桜エビと白だしを入れ、ラップをし、600Wの電子レンジで1分間加熱する。
- ②①と解凍してさやから取り出した枝豆をご飯に入れて混ぜ合わせたら完成。

教育委員会だより
vol.71

◆問い合わせ ▶町学校教育課総務係
(☎82 - 3111内線311) ▶町生涯学
習課(☎82 - 3111内線621)へ。

天空海闊

—空、とこしえに碧くして 海、穏やかにどこまでも—

春の子ども向けイベント 「親子でチャレンジ！釣り講座」



講師「アナハゼティ」のお二人

町教育委員会では、宮城県
気仙沼市出身のユーチューバ
ー「アナハゼティ」を特別講
師に招き「親子でチャレンジ
！釣り講座」を開催します。
当日は、初心者でも楽しめ
る釣り方や仕掛けの結び
方などを学ぶことができます。
山田町の自然に触れながら、
親子で海釣りを体験してみま
せんか。

▽期日 6月9日(日)

▽時間 第1部：午前9時～正午

▽第2部：午後1時半～4時半

▽場所 町内の漁港

▽対象 小・中学生、町民、町内に勤務する人

※小学校低学年以下は保護者同伴となります。

▽定員 各回5組(1組2名まで)

※応募人数が多い場合は、小・中学生が優先で抽選となります。

▽持ち物 帽子、飲み物、タオル、釣りざお、リール、ライフジャケット

※釣りざおとリール、ライフジャケットを持っていない人には貸し出します。

▽参加費 2千円

▽申込期限 5月24日午後3時まで

▽注意事項 当日は、動きやすい服装でご来場ください。また、安全のためサンダルではなく運動靴でご来場ください。

◆申込先・問い合わせ 町生涯学習課社会教育係(内線624)へどうぞ。

山田町スポーツ少年団

新入団員を募集します



町内のスポーツ少年団では、令和6年度の新入団員を募集しています。

スポーツ少年団は、児童生徒の体力向上や友情、団結力を育むことを目的に結成され、多くの子どもたちがスポーツ活動を通して、心と体を鍛えています。入団や見学を希望する人は、町生涯学習課へお問い合わせください。

※団体によっては、加入の際に保護者の同意書が必要になる場合がありますので、事前にお問い合わせください。

◆問い合わせ 町生涯学習課社会体育係(内線682)へ。

◆町内のスポーツ少年団

種目	団体名
空手道	空手道豊志会
	山田空手道
剣道	山田斉心館剣道
柔道	山田愛信館柔道
	山田中学校柔道部
レスリング	山田レスリングクラブ
サッカー	F C山田ヴェルエーニ
バスケットボール	豊間根ミニバス
	山田中学校女子バスケットボール部
	山田ホエールズ
	山田ミニバス
野球	オール豊間根野球
	山田野球

図書館だより

5

2024.May.

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

【開館時間】

午前9時～午後7時
※日曜日と祝日は午後5時まで

◆問い合わせ 町立図書館(☎82-3420)へ。

■：休館日

○：移動図書館

◆移動図書館運行予定表

滞在時間 (40分程度)	運行日・場所	
	5月3日、17日	5月8日、22日
午前9時半～10時10分	大浦漁村センター	県営北浜アパート
午前10時半～11時10分	船越防災センター	豊間根生活改善センター
午後1時20分～2時	田の浜コミュニティセンター	下条コミュニティセンター
午後2時20分～3時	織笠コミュニティセンター※17日のみ	勤労者体育センター

新刊図書 PICKUP

■一般図書

- ・川のある街 江國香織 著
- ・のち更に咲く 澤田瞳子 著
- ・東北モノローグ いとうせいこう 著
- ・いちばんやさしい60代からのiPad 増田由紀 著
- ・一坪ミニ菜園入門 和田義弥 著

■児童書

- ・おすしが あるひ たびにでた 田中達也 作
- ・ポップーきかんしゃはなさんぽ とよたかずひこ 著
- ・こっちをみる。 となりそうしち 作

図書館イベント情報

◎お話しゅうたん

町内の「読み聞かせボランティア」の皆さんが絵本の読み聞かせを行います。

▷日時 5月19日(日)午前10時半から

▷場所 町ふれあいセンター「はぴね」多目的室

各種イベント情報

◎ソフトテニス教室

▷期日 5月12日(日)、19日(日)、26日(日)、6月2日(日)、9日(日)

▷時間 午前9時から正午まで

▷場所 町民総合運動公園テニス場

▷対象 小学5年生以上の町民

▷参加料 小・中学生100円、高校生以上200円

▷持ち物 ソフトテニス用ラケット、タオル、飲料水(水分補給のため)

※ラケットを持っていない人には貸し出します。

◎柔道教室

▷期日 5月8日(水)、15日(水)、22日(水)、29日(水)、6月5日(水)

▷時間 午後7時から9時まで

▷場所 町立武徳殿

▷対象 小学生以上の町民

▷参加料 1回200円

▷持ち物 タオル、飲料水(水分補給のため)

▷その他 当日は動きやすい服装でご来場ください。

◆問い合わせ 町生涯学習課社会体育係(内線682)へ。

◎たんぼぼ学級【無料】

▷期日 5月14日(火)

▷時間 午前10時から正午まで

▷場所 町中央コミュニティセンター

▷対象 妊婦や未就園児を持つ家族

▷内容 アロマトリートメント・アロマクラフト体験

▷定員 6組まで

▷申込期限 5月10日

◆申込先・問い合わせ 町生涯学習課社会教育係(内線624)へどうぞ。

教育相談

おなやみ
専用☎82-0783

学校や勉強のことなどで悩みがある人はお気軽にご相談ください。

▷相談日 毎週月～金曜日(年末年始、祝日を除く)

▷時間 午前9時～正午

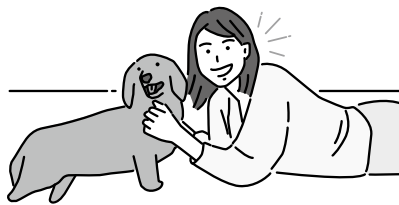
鯨峰爽やかに

令和6年度がスタートし、1カ月が過ぎました。小・中学校に入学した1年生は、新しい環境に緊張した日々を過ごしたことで、ゴールデンウィークで心身の疲れを癒し、やる気のエネルギーを充電してほしいと思います。▼今年度も、子どもたちに「郷土愛の醸成」を図るため、山田町でなければ体験できない、海、山、川などの自然体験活動を実施します。この体験活動は、5者(子ども、家庭、学校、地域、行政)の連携が必要不可欠なので、2名の地域学校支援コーディネーターを配置し、各体験活動を推進していきます。特に今年度からは、義務教育9年間で体験すべき活動を学年ごとに位置づけ、発展的な学びとなるように整理しました。この体験活動を通して、子どもたちには地元のことをよく知り、その良さを実感し、故郷・山田を愛する心を育んでもらいたいと思います。

教育長 松葉 覚

犬の飼い主は忘れずに

21日と22日は「狂犬病予防巡回注射」



町では、左表の日程で犬の狂犬病予防巡回注射を行います。生後91日以上の犬は、毎年1回必ず予防接種を受けなければなりません。対象となる犬の飼い主には、通知書を送付しますので、忘れずに最寄りの会場で予防接種を受けさせてください。左表の日に予防接種を受けさせられない場合は、必ず動物病院で獣医師から予防接種を受け

てくださいます。※詳しい時間や場所は、お問い合わせください。▽費用 左表のとおり▽注意事項
▼1カ月以内に他の予防注射を受けた犬は注射を受けられませんのでご注意ください。▼獣医師による問診で、注射を見合わせる場合がありますのでご了承ください。

◆日程と実施地区

日程	実施地区
21日(火)	豊間根地区、大沢地区、山田地区(関口、関谷、後楽など)
22日(水)	織笠地区、船越地区、山田地区(わんぱく公園、なかよし公園、保健センター前)

◆費用(一頭当たり)

区分	登録料	注射料	合計
登録済みの犬	—	3,200円	3,200円
未登録の犬	3,000円	3,200円	6,200円

飼い犬の登録内容の確認を

犬の登録は生涯1回です。犬が死亡したり、犬の所在地や飼い主が変わったりした場合は、30日以内に役場へ届け出が必要になります。未登録や注射を受けさせないなどの場合には、20万円以下の罰金が課せられますのでご注意ください。

◆届出先・問い合わせ 町町民課環境衛生係(☎82-3111内線125)へどうぞ。

参加チームを募集します B & Gバレーボール大会

町B&G海洋センターと町教育委員会では、「第28回山田町B&Gバレーボール大会」を開催します。チームや友人などと一緒に参加してみませんか。

▷期日 5月22日(水)~24日(金)
▷時間 午後7時から

※開会式は5月22日(水)の午後6時50分から行います。

▷対象 中学生以上の人

▷内容 6人制のバレーボール(混成の部、女性の部)
※混成の部は、1チームに女性2名以上とすること。

▷参加費 1チーム2千円

▷申込方法 町生涯学習課に備え付けの申込書に記入し提出、またはファクスでお申し込みください。

▷申込期限 5月14日

◆申込先・問い合わせ 町生涯学習課社会体育係(☎82-3111内線682)へどうぞ。



昨年の大会の様子

山田病院の診療受付方法が変更 「待ち時間システム」を導入

岩手県立山田病院では、院内での待ち時間短縮や院内感染防止対策のため、「待ち時間システム」を導入しました。



導入された待ち時間システム

総合受け付けで診療受け付けを行った後は、各科に配置している画面に受付番号で診察状況を確認できます。また、窓口で発行される受付票のQRコードをお手持ちのスマートフォンやタブレットで読み込むと診察順番をWEBで確認できます。※詳しい内容は、お問い合わせください。

◆問い合わせ 岩手県立山田病院(☎82-2111)へ。



取材先で出会ったかわいい笑顔
(三陸鉄道40周年記念イベント)

おしらせ

山田町役場 ☎82-3111

町のホームページアドレス

<https://www.town.yamada.iwate.jp>

ふる里同郷の会を 東京で開催します

35回目の開催となる「ふる里山田同郷の会」が東京で開かれます。どなたでも参加できますので、皆さんの家族や友人などにお知らせください。

- ▷ 期日 6月16日(日)
- ▷ 時間 午後0時半開始
(午前11時半受付開始)
- ▷ 場所 東京ガーデンパレス
- ▷ 参加費 1人1万円
- ▷ 申込期限 5月25日
- ※ 期限後でも参加できる場合がありますのでご連絡ください。

◆ **申込先・問い合わせ** ふる里山田同郷の会事務局 (☎090-1613-7727)へどうぞ。

各種の無料相談 お気軽に利用を

◎山田町法律相談センター

- ▷ 相談日 5月7日(火)、14日(火)、21日(火)、28日(火)
- ▷ 時間 午前10時～午後3時
- ▷ 場所 町中央コミュニティセンター第1研修室
- ▷ 相談内容 法律問題の悩み事
- ◆ **問い合わせ** 岩手弁護士会(☎019-623-5005)へどうぞ。

◎行政相談所

- ▷ 相談日 5月23日(木)
- ▷ 時間 午後1時半～3時半
- ▷ 場所 町中央コミュニティセンター第2研修室、集会所
- ▷ 相談内容 行政機関への意見や要望など

◆ **問い合わせ** 町町民課地域安全係(内線126)へどうぞ。

町への意見はこちら

町では、町への意見や要望、提案などを常時、受け付けています。

- ▷ 電話 82-3111(代表)
- ▷ ファクス 82-4989
- ▷ メール info@town.iwate-yamada.lg.jp

成年後見制度を みんなで学ぼう

宮古圏域成年後見センターでは、「講談で楽しく学ぶ成年後見制度」と題し、地域住民向けセミナーを開催します。

- ▷ 期日 5月30日(木)
- ▷ 時間 午後1時半～3時15分
- ▷ 場所 ▶ 宮古市民文化会館中ホール(宮古市磯鶏沖) ▶ 町中央公民館視聴覚室
- ※ 町中央公民館で受講する人は、オンライン形式での受講になります。
- ▷ 内容 認知症や障害がある人の契約手続きなどを支援する成年後見制度を学ぶセミナー
- ▷ 費用 無料
- ▷ 申込期限 5月22日

◆ **申込先・問い合わせ** 宮古圏域成年後見センター(☎64-5051)へどうぞ。

各種障害のお悩み 相談受け付けます

◎「知的障がい者巡回相談」

- ▷ 相談日 6月20日(木)
- ▷ 時間 午前10時半～午後4時
- ▷ 場所 宮古市山口公民館(宮古市山口)
- ▷ 対象 18歳以上の知的障害や同様の悩みを抱えている人
- ▷ 内容 療育手帳の判定(再判定)や障害基礎年金の診断書作成の相談など
- ▷ 申込期限 5月17日

◎「義肢・装具等補装具巡回相談」

- ▷ 期日 6月18日(火)
- ▷ 時間 午前10時半～午後1時半(午前11時受け付け終了)
- ▷ 場所 宮古市総合福祉センター(宮古市小山田)
- ▷ 内容 補装具の購入や借り受け、修理などの相談など
- ▷ 対象 身体障害者手帳が交付されている人や医師から障害者総合支援法で定められている難病と診断された人
- ▷ 申込期限 5月17日

◆ **申込先・問い合わせ** 町長寿福祉課地域福祉係(内線152)へ。

軽自動車税減免 申請を受け付け

町では、障害がある人が所有する車両や構造が車いす移動車・移動入浴車などの特殊用途自動車の軽自動車税種別割を減免します。詳しい内容は、お問い合わせください。

- ▷ 申請に必要な物
 - ▶ 軽自動車税減免申請書
 - ▶ 障害者手帳
 - ▶ 車検証の写し
 - ▶ 運転免許証
 - ▶ 納税通知書(5月上旬発送予定)
- ※ 軽自動車税の納付後に減免申請をすることはできませんのでご注意ください。
- ▷ 申請期限 5月31日

◆ **届出先・問い合わせ** 町税務課町民税係(内線111、112)へ。

22日に開催します 山田町スマホ教室

町では、「山田町スマホ教室」を開催します。無料ですので、家族や友人などお誘い合わせの上、お申し込みください。

- ▷ 日時 5月22日(水)
午前9時半～正午
- ▷ 場所 まちなか交流センター
- ▷ 対象 スマートフォンを所有している人または購入を検討している人
- ※ スマートフォンの貸し出しが可能です。
- ▷ 内容 スマートフォンの操作方法や設定方法、アプリの活用方法など
- ▷ 定員 16人
- ▷ 申込期限 5月15日

◆ **申込先・問い合わせ** 町総務課情報化推進係(内線419)へ。

あなたの思いをカタチにしませんか まちづくりの取り組みに補助金

町では、町民の皆さんの思いをまちづくりへ生かすため、町内の団体などが考案する新たなまちづくりの取り組みに対し補助金を交付します。

- ▷ 対象事業 次のいずれかに該当する新規事業で対象経費が50万円以上の継続性がある事業 ▶ 町の資源を生かした魅力的な地域産業をつくる事業 ▶ 新しい「ひと」の流れをつくる事業 ▶ 結婚や出産、子育て、教育への希望をかなえる事業 ▶ 誰もが安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる事業——など

- ▷ 対象事業の例 ▶ 町内の特産品などを生かした商品開発や販売所整備 ▶ 移転元地などの空き地を活用した新たな観光スポットづくり ▶ 子ども食堂の開設運営——など

- ▷ 対象団体 町内を拠点とし、次の全てに該当する町民活動団体や産業団体、事業者など ▶ 構成員の3分の2以上が町民で町税などの滞納がない ▶ 宗教・政治活動を行っていない ▶ 事業を行う体制が整っている

- ▷ 補助金額 補助対象経費の4分の3以内の額(上限100万円)

- ▷ 申請方法 町政策企画課に備え付けか、町のホームページに掲載している申請書に必要な書類を添えて提出

- ▷ 申請期限 5月31日

※ 詳しい内容は、お問い合わせください。

◆ **申請先・問い合わせ** 町政策企画課まちづくり推進係(内線361)へどうぞ。

おめでとう・おくやみ

3月届け出分（敬称略）

【出生】（ ）は性別と保護者

- ▷山田 清水尊仁(男・翔平)
- ▷田の浜 黒沢蒼空(男・拓宏)
- ▷織笠 小林佳風人(男・徹)

【結婚した二人】（ ）は住所

- 阿部翔流(大沢)・稲川美里(織笠)
- 橋端泰地(田の浜)・佐藤朋恵(盛岡市)
- 佐々木雄登(飯岡)・関梓(盛岡市)
- 長澤義樹(荒川)・豊間根李(石峠)

【死亡】（ ）は年齢

- ▷山田 木戸脇英一(90)、鈴木敬雄(83)、織笠勇悦(73)
- ▷船越 船越光政(86)、倉堀泉(83)、宮川晃(71)
- ▷田の浜 田畑忠夫(89)、田畑由貴(87)
- ▷大浦 阿部健男(90)、阿部シノ(99)、金澤榮(94)
- ▷織笠 佐藤榮子(77)、小川泰郎(86)、佐々木春美(86)
- ▷大沢 阿部ミヤ子(82)
- ▷豊間根 佐々木すみ子(85)、木村和弘(86)、伊東静子(81)、豊間根キサ(91)
- ▷荒川 川崎のぶ(92)、芳賀ヤエ(97)、佐藤哲子(85)



※敬称略、()内は地区名・性別・保護者です。



貫洞 仁花
(八幡町・女・勇樹)



佐々木 悠吾
(織笠・男・琢哉)

介護家族のための「リフレッシュ教室」

- 日時** 5月16日(木) 午後1時～2時半
- 場所** 町まちなか交流センター
- 内容** 排せつ介護のこと
- 費用** 無料
- ▷対象 家族を介護している人や介護を受けている人
- ▷申込期限 5月15日
- ◆申込先・問い合わせ 山田町地域包括支援センター(☎82-3136)へどうぞ。

町民のうごき (3月1日～31日)

- ▷出生……3人 ▷転入……56人
- ▷死亡……30人 ▷転出……136人
- ▷人口…14,076人 (今月減107人)
男…6,912人 女…7,164人
- ▷世帯数………6,435世帯

◆山田小学校入学式の取材。試し撮りをしようと思ったところお尻に寒気が…。勢いでスーツが破れてしまいました。急いで着替えましたが、見ない振りをしていただけに皆さんに改めて感謝です。

◆船小特集記事作成のため、130周年記念誌を見ると、そこには当時1年生だった私の姿が…。将来の夢は「忍者」と書かれていたが、現在の姿は広報マン。忍者になる夢は諦めています。

ピンボケ

安全安心なまちづくりにあなたの力を 防犯隊員と交通指導員を募集

安全で安心できるまちづくりにあなたの力を——。町では、20歳以上75歳未満の健康な町民を対象に、防犯隊員と交通指導員を随時募集しています。希望する人は、町町民課や役場各支所に備え付けの履歴書用紙に必要事項を記入し、提出してください。

◇募集内容

区分	防犯隊員	交通指導員
職務内容	▶月3回の定期パトロール ▶児童生徒の下校時の見守り活動 ▶各種イベントの際の警備 ▶地域安全の啓発活動——など	▶町内小中学校の交通安全教室での指導 ▶児童生徒の登校時の街頭指導 ▶各種イベントの際の交通指導 ▶交通安全の啓発活動——など
報酬	年額7千円、1回当たり1,500円～2,000円を支給	年額18万円
委嘱期間	委嘱する日～令和8年3月31日	

◆申込先・問い合わせ 町町民課地域安全係(☎82-3111 内線126)へどうぞ。